

平成27年度事業報告

関西国際空港の就航ネットワークの強化や物流機能の更なる強化など、関西国際空港を活用し、関西全体の成長・発展を促進させていくための活動として次の事業に取り組んだ。

I 各種会議等の開催及び要望活動の実施 決算額 1, 828千円

国等関係機関との協議・調整活動を行うとともに、協議会構成団体間で、協議会運営などに関する合意形成に努めた。

また、国等関係機関に対して、関空の機能強化のための施策推進に向け、要望活動を行った。

(1) 総会の開催

- ・開催日：平成27年7月22日
- ・議事：①規約改正の件
②役員選出の件
③平成26年度事業報告及び収支決算報告の件
④平成27年度事業計画及び収支予算の件
- ・要望決議

(2) 理事会の開催

- ・開催日：平成27年7月15日
- ・議事：総会への付議議案について

(3) 理事・参与団体担当課長会議（事務局会議）の開催

- ・開催日：平成27年7月3日
- ・議事：①関空の現状について
②平成27年度促進協総会議案について
③平成27年度促進協要望について
④就航奨励一時金制度について
⑤その他

(4) 要望活動の実施

- ・平成27年8月6日に、正副会長が国土交通省、財務省及び法務省を訪問し、第3ターミナルの整備や観光立国の実現に向けた観光ビザの緩和、出入国審査場の混雑緩和、アクセスの改善などを要望した。
- ・平成27年11月19日に、正副会長が国土交通省、財務省及び法務省を訪問し、急増する訪日外国人に対応するための入国管理体制の充実強化などを緊急要望した。

II 広報活動の実施 決算額 1, 004千円

(1) ホームページ及びメールマガジンによる情報発信

本協議会の活動状況と関空に関する最新かつきめ細かい情報発信のため、本協議会ホームページ上で随時情報発信を行うとともに、登録者にメールマガジンを発行した。

(2) PRパンフレットの作成

本協議会PRパンフレット「国際拠点空港としてのさらなる発展をめざして」を複数言語（日・英）で作成し、要望活動時等に配布した。

III 管理運営

決算額 934千円

本協議会の管理運営

・公認会計士の委嘱、事務局員の旅費、電話料金、郵送代 等

IV 関西国際空港ゲートウェイ機能強化促進事業

関西国際空港を活用した関西の成長・発展に向けて効果性の高い広域的な取組みとして、新関西国際空港株式会社をはじめとする関係機関と連携し、中長距離路線等を重点的に航空ネットワークの拡充を支援するとともに、空港アクセスの利便性向上や物流機能の強化などに取り組んだ。

(1) ネットワークの拡大と空港の利用促進

決算額 30,496千円

○中長距離等国際線ネットワークの強化

① エアポートプロモーション活動の実施

新関西国際空港株式会社や経済界との連携のもと、航空会社本社を訪問し、中長距離路線など関空路線の増便や新規路線の開設などを働きかけた。

航空会社へのプロモーション団の派遣（4団）

派遣団体	派遣時期	訪問先
大阪府	5月22～24日	中国国際航空
関西経済連合会、大阪府	9月17日	エアアジアX
大阪府	11月22～25日	ガルーダ・インドネシア航空
関西経済連合会、大阪商工会議所、大阪府	12月16日	日本航空

② 新規就航路線等を対象とした集客促進活動への支援

中長距離路線の拡充などを促進するため、航空会社が実施する集客促進活動（海外でのPR活動や顧客開拓活動など）に対し、支援を行った。

- ・日本航空（ロサンゼルス線）
- ・エアカナダ（バンクーバー線）
- ・スクート（シンガポール線）

- ・春秋航空（LCC拠点：中国国内11都市）

○観光インバウンドの促進

①訪日外国人向けの観光情報誌の作成とそれを活用したプロモーション活動

訪日外国人の旅客需要の開拓のため、多言語にて訪日外国人向けの観光情報誌を作成し、アジアを中心に旅行社等への配布、旅行博での配布によりプロモーション活動を実施した。

②航空会社と連携したインバウンド拡大事業の準備

関西一円へのインバウンド誘客拡大を目指し、自治体等と連携する航空会社を公募選定した。

○就航奨励一時金制度の活用

①旅客便基本奨励一時金

- ・タイエアアジアエクス（バンコク（ドンムアン）線）

②拠点化定着奨励一時金

- ・ピーチ・アビエーション（仁川線、香港線、釜山線、高雄線）

（2）空港アクセス利便性の向上

決算額 16,677千円

○アクセス料金の低減化

関西各地からのアクセスコストの低廉化を図るため、交通事業者と連携し、企画きっぷの造成・広報活動の支援を行った。

（企画きっぷの造成・広報活動の支援実績）

- ・近鉄電車とリムジンバスとの片道セット割引
- ・神戸＝関空ベイ・シャトルの片道割引
- ・舞鶴・山陰方面からの長距離バス乗継割引
- ・特急はるかの往復割引

○訪日外国人に対する関空アクセス利便性の向上

LCC深夜到着便の増加に伴うリムジンバスの24時間化（関空→大阪市内）に伴う広報活動の支援を行った。

関西空港リムジンバスの路線図や時刻表の多言語化の作成の支援や『行先・停留所コード』の導入に伴う広報活動の支援を行った。

（3）空港を活用した輸出入促進

決算額 37,697千円

○物流拠点機能の強化

①フェデラル エクスプレス北太平洋地区ハブの定着促進

就航奨励一時金制度の活用（拠点化奨励一時金）により、関西国際空港を北太平洋地区ハブとして活用する「フェデラル エクスプレス」の定着を支援した。

○関西の食輸出の推進

①食輸出のためのセミナーの開催

新関西国際空港株式会社や経済界等と連携し、国内事業者向けに食輸出セミナーを実施し、併せて海外バイヤーとの商談会を行った。

②食の販路拡大の取組みに対する支援、関西の物産・観光の発信

新関西国際空港株式会社や経済界と連携し、マレーシアで実施された物産観光展等への支援を行った。

また、ハラール市場に対する食輸出の拡大のため、アジア最大級の国際食品・飲料展「FOODEX JAPAN 2016」に出展した。

さらに、新関西国際空港株式会社や自治体等と連携し、関西国際空港のターミナル等において、関西の観光・物産PR活動を促進した。

○新たな輸出入ビジネスの創出促進

関西国際空港の航空貨物需要を創出するため、新関西国際空港株式会社や経済界等と連携し、関西国際空港を活用した新たなビジネスに取り組む事業に対し支援したほか、関西の製薬メーカーや物流関連事業者等を対象に、医薬品セミナーを開催した。